

2018

小さな自然観察クラブ

第1回目 早春の森観察

5月12日（土）に今年の小さな自然観察クラブが始まり、参加者は昨年と同数の27名となりました。さらに名寄市立大学の先生、学生の皆さんも一緒に活動します。1年間よろしくお願いします。



さて、1回目は早春の森観察として、浄水場周辺の森を散策する予定でしたが、下見に行ったところ見応えある植物が少なかったため^{とみがおか}砺波ヶ丘公園に変更しました。この公園はむらさき色の花カタクリが咲く場所として知られています。公園近くの駐車場でバスを降りて自

然散策スタートです。歩き始めてすぐに「見つけた～」という声が聞こえました。エゾサンショウウオの卵です。参加者の中には卵を見ることを楽しみにしていた子どもも多く、見つけた時の目は輝いていました。花では、



名寄市の花オオバナノエンレイソウがきれいに咲いていました。公園内の^{えんれい}延齢の森に入ると主役のカタクリが咲いていました。南斜面は見ごろは過ぎていましたが、あずまやでひと休みし、北斜面を下るとカ



タクリも見ごろで、小川のそばにはミズバショウが見られました。園を1周し、エゾヤマザクラの前で記念写真を撮りました。

今回は、初めて会う子と自然の中を歩く楽しい回となりました。今後の観察クラブでもたくさんの自然に触れていきましょう。



2018

小さな自然観察クラブ

第2回目 初夏の自然観察



6月16日(土)に2回目の観察クラブ「初夏の自然観察」を開催しました。今回は名寄を離れ下川町五味温泉周辺の森散策です。当日の数日前は雨が降ったり、寒かったりと不安定な天候が続いていましたが、この日は快晴で気温も上がり散策日和となりました。

散策の前半は坂道を登っ

て降りてきました。バスから降りてすぐに登り坂を歩くのは少し疲れたかもしれませんが、ワスレナグサやシャクなど、いろいろな植物を見ることができたほか、黄色い花クサノオウは毒を持っている植物



であることを学習しました。植物以外では黒色の大型のカラ類のクマゲラが飛んでいました。ひんぱんに鳴き声を出していて聞いた方もいたと思います。

後半はピオトープの平らな道を歩きました。

ピオトープとはドイツ語で「命の場所」を意味します。ピオトープには池があり、水辺の生き物や植物を観察しました。皆さんは何を見つけましたか？ピ



オトープを歩いた後は今回の散策の目玉と言ってもいい植物ベニバナイチヤクソウを見ました。赤くきれいに咲いていたこの花は薬として利用することもできます。

今回は、前回の砺波ヶ丘とは違った植物に出会うことができました。次回以降もたくさんの自然と触れあいましょう。



2018

小さな自然観察クラブ

第3回目 川釣り体験



7月14日(土)に3回目の観察クラブ「川釣り体験」を開催しました。観察クラブでは人気の行事で楽しみにしていた方もいたことでしょう。7月に入ってからは気温の低い日があったりと、天候が不安定でしたが、当日は晴天で強い日差しの中、吉野川へ行きました。実は観察クラブで吉野川へ行くのは今回が初めてでした。

現地に着いたらはじめに釣りの準備をしました。去年は釣りざおに釣り糸をつける作業から行ってい



ましたが、少しでも長い時間釣りを楽しんでもらうために今回は事前に取り付けをさせていただきました。針にはエサとなるイクラをつけたら準備完了です。班に分かれて釣りを始めると最初はなかなか釣れませんでした。数匹のカジカやヤマベが釣れて



いました。しかし、しばらく釣りを続けても魚が釣れることは少なかったため、川に入って遊んだりもしました。暑い日に川に入るのは冷たくて気持ちよかったことでしょう。

名寄の川で楽しい時間を過ごしましたが、川は流れがあり川に入る時はすべりやすく、危ないと感じたこともあったと思います。川などの水辺に行く時はケガや事故にあわないように気をつけましょう。



2018

小さな自然観察クラブ

第4回目 名寄公園散策

9月8日(土)に4回目の観察クラブを開催しました。当初は親子登山として九度山に行く予定でしたが、前日深夜に雨が降ったことと、6日(木)に起きた地震による停電を考えると、内容を名寄公園の散策に変更しました。



名寄公園
は名寄の中

でも大きい公園で春には桜がきれいに咲く場所として知られており、名寄市の指定文化財に指定されている樹木「ミズナラ」が約200本生育しています。この季節は花などの植物は少なかったですが、



いたる場所にきのこが育っていました。たくさんのきのこを見つけましたが、きのこの中には毒を持ったきのこもありますので、外できのこを見つけた時は気をつけましょう。また、笹の葉で船を作ったり、



ミズナラから
育つどんぐり

を拾ったり、公園の自然を満喫しました。活動の最後には大学の先生によるネイチャーゲームを行い、散策とは違った形式で自然や環境について楽しみました。



今回は残念ながら九度山での山登りはできませんでしたが、名寄公園の貴重な自然について学ぶ有意義な回となりました。

今回は残念



2018

小さな自然観察クラブ

第5回目 親子野外料理

10月13日(土)に5回目の観察クラブ「親子野外料理」を開催しました。前回に続いての親子行事で、クラブ員の他、弟妹、保護者の皆さんもたくさんご参



加いただき、指導スタッフと合わせて60名と賑やかな回となりました。今回は鉄鍋でいも煮風鍋を作り、羽釜でご飯を炊きました。



料理の前に火をおこしました。実際におこすのは市立大学の学生さんです。前日の雨で使用する木が濡れてしまいましたが、慣れた手つきで作業を進め、火をつけると勢いよく燃えていきました。火がおきたら食材を準備しました。いも煮風鍋は本来、



サトイモを使いますが、今回はじゃがいもを使いました。



食材を切る時はお父さん、お母さんに教わりながら頑張りましたね。館内ではお米洗いが行われました。冷たい水で洗うのは大変だったでしょう。

食材の準備ができれば調理を始めました。いも煮風鍋はとり肉を炒めた後、水、きのこ、野菜を入れ煮込み、しょう油と砂糖で味付けをしました。ご飯は火にかけて30分くらいするといいにおいがしてきました。フタを開けると真っ白なご飯が登場し、しゃもじで混ぜると中からおこげも出てきましたが、おいしそうに炊けていました。

鍋とご飯ができあがり、器についていただきました。自然の中でたき火を使っての料理は皆さんの体を温めてくれました。



2018

小さな自然観察クラブ

第6回目 ナチュラルクラフト作り

11月10日（土）に6回目の観察クラブ「ナチュラルクラフト作り」を開催しました。これまで一緒に活動してきたクラブ員だけではなく、低学年の弟妹さんにも参加いただき工作に挑戦しました。



今回はクリスマスが迫ってきたということもありリース、トナカイ、サンタを作りました。



はじめに構想を練ります。3つの作品で主に使われるのはトイレットペーパーの芯と折り紙です。これらにどんぐりや松ぼっくりなどの自然物も組み合わせ

せてどのように作品を作るか考えます。その時の皆さんの表情は真剣そのものでした。

構想がまとまれば実際に作っていきます。高さがあり立体的なリース、角が太いトナカイ、たくさん



ヒゲがはえたサンタなど、かわいい作品

がたくさんできました。皆さんの発想力にはとても驚きました。最後にできあがった作品と一緒に写真を撮りました。お家に飾って

くださいね～。

今回は工作を通して野外観察とは違った形で自然に触れました。次回はいよいよ今年最後の観察クラブです。この行事で出会った人たちと楽しい時間を過ごしましょう。



2018

小さな自然観察クラブ

第7回目 キャンドル作り



と、ろうそくはだんだん溶けていき透明な液体になりました。次に溶かしたろうそくに色をつけます。カッターで好きな色のクレヨンを削り、色をつけます。どんな色のキャンドルができるのかとても楽しみです。最後にろうそくを固めます。プラスチック

12月8日(土)に今年最後の観察クラブ「キャンドル作り」を開催しました。観察クラブの定番企画として、オリジナルのキャンドルを作りました。

はじめにろうそくを溶かします。細かく削られていたろうそくをアルミ製のカップに入れ湯せんで溶かします。する



や紙の容器にろうそくを入れ、雪で冷やして固めます。火をとますためのしんも容器に入れ、わりばしで固定します。ろうそくが固まれば、わりばしをはずし容器から取り出してできあがりです。頑張った作ったキャンドルはぜひ火をともしてくださいね。キャンドル作りの後はスライド写真を見て今年



の活動を振り返りました。

皆さん今年の観察クラブはどうでしたか。違う学校の子といろいろな場所に行って、たくさん自然を

見て学習しました。また、今年は市立大学の先生、学生の皆さんも参加し、例年とは違った形で活動できたと思います。来年もぜひ参加してください。1年間ありがとうございました。

